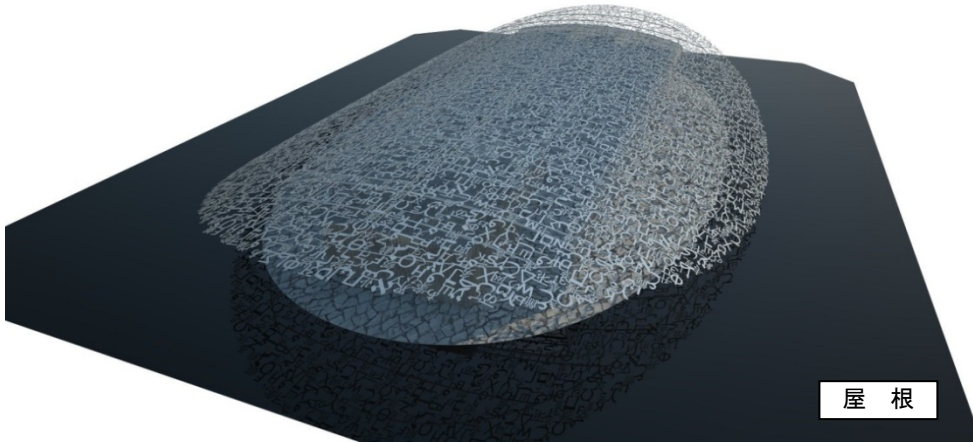


## 男木交流館(仮称)整備事業



### タイトル： 男木島の魂

今回のプロジェクトは、単なる建物をつくるのではなく、集う場をつくることを主な目的とする。

そこは、男木島の集落の人々が訪問者を受け入れる場である。

半透明な空間は、人々が島の景観、丘の上の小さな町の美しさ、そして波止場をいつでも見ることができる。

家は様々なアルファベットでできた屋根によって覆われている。

詩の雲のように、屋根はアルファベットの影を、日中は地面に投射し、夜は空に向かって投射する。

屋根をかたちづくる文字は不規則に並ぶ。それは単なる文字であって、言葉ではない。

それは世界を構成するさまざまな文化を表しているようにも見える。

アルファベットはおそらく、最も正確な文化の表現である。

それは数世紀にわたる伝統、その発展と変容の結果である。

アルファベットとは文化の自画像であり、世界の多様性の最良の範例であると私は言おう。この屋根では、日本語、ヘブライ語、アラビア語、ラテン語、中国語、ギリシャ語、ロシア語、ヒンズー語を使っている。

家はまた、男木島の人々へのオマージュでもある。

この形は、貝の形にインスピレーションをえている。

貝はいつも自分の家をその体のまわりにつくっている。

それは、異なる文化の懸け橋である海へのオマージュでもある。

(Jaume Plensa ; ジャウメ・プレンサ)

